

6月5日、12人を取り戻すぞ!

これが法大生の怒りだ

・今の法政大学は本当におかしい!! (法大・キャリアデザイン)
このままで良いとは絶対に思えません。
落ち着かない、居心地の悪いキャンパスなんていくらもありません。
もっと伸び伸びと自由に過ごせる大学であって欲しい。それだけです。

彼らがしたのはそこまで重い罪なのか、疑問です。
(法大・文学部
哲学科)

現在の状況について、不安です。今回の件については他人事ではない思いがしました。
(法大・文学部)

公判を見てもまったく納得がいかず、できることがあればと思っています。
(法大・文学部日文科4年)

すぐに釈放してください!!!
(法大生)

増田総長よ、よく聞け。これが法大生の思いだ、怒りだ! 増田は、12人の学生を警察に売り渡したことで、正門を全開し、あたかも「平和」が戻ってきたかのように演出している。ふざけるんじゃない! 法大生の怒りの声はますます広がっている! 闘うリーダーをたたき出せば、学生の怒りを圧殺できているなら、100%大間違いだ。学生は腐った権威に、黙って屈する存在ではない。誇り高き存在だ。学生をなめるんじゃない!

を握りしめた。悔し涙を流した多くの仲間の分まで背負って、文化連盟はついに闘いに立ち上がったのだ。

それから1年、法大闘争は感動的な地平にのぼりつめている。何より、4・24法大解放集会だ。

あの日、1500人も法大生が、文化連盟の呼びかけに応じ、自らの意志で、集会に集まった。職員の阻止線も授業のしほりもけつとばして、正門にも外濠公園にも学生が溢れた。多くの学生が仲間の逮捕に涙し、デモに出る学生に声援を送った。

06年以来3年間ズタズタにされてきた、学生の団結・一体感。しかしついにこの日、1500人の法大生によってついに取り戻されたのだ!

それは、大学の支配うちやぶり、大学を学生の手にとり戻した瞬間だ。



文化連盟は正義だ!

4・24集会こそ学生のかた

増田よ! 法大生は全部見てきた。一方的なピラ撒き禁止、サークル破壊、学生ホールの撤去。学生生活のすみずみを監視カメラで盗撮し、学生の情報を警察に売り渡して逮捕させる。この3年間でどれだけの自由が奪われたか。大学生活が重苦しく、つまらないものにさせられたか。もはや監獄のような大学に一片の正義もない!

法大生はまた文化連盟も見えてきた。こんな不正義に怒りを爆発させたのが文化連盟だ。昨年5月、大学は一方的に恩田さんに停学処分を下した。これに対し「一人の仲間も見捨てない」「法大当局のこれ以上の暴挙を許さない」と、文化連盟はキャンパス中央で、ついに公然と抗議のマイク

3・14法大弾圧を許さない
法大生の会

ブログ <http://hosei29.blog.shinobi.jp/>
メール hosei_five@yahoo.co.jp



金融損失 28 億円！

新自由主義大学をぶっつぶせ

監獄大学 = 法大の正体は、「教育」で金儲けにはしる新自由主義大学だ。年間 650 億円（全資産の 3 分の 1）を資産運用 = 金儲けにつかってきた！そして昨年度の金融損失は 28 億円！！なんと 2000 人の年間授業料に匹敵する金が吹き飛んだ。

この金はもとはと言えば学生の学費ではないか。奨学金で借金させてまでかき集めたお金だ。新自由主義大学は、学生を利用して金儲けに興じてきたのだ。

文化連盟は新自由主義大学と真っ向対決で闘った。これに対する増田の回答は何だったのか？声を上げた学生を「処分」！ピラをまいたら「営業権の侵害だ」と仮処分！あげくのはてには「威力業務妨害」で逮捕！こんなものは大学ではない。法大生の力でぶっつぶそう！

4・24集会での文連・斎藤委員長アピール
「学生の未来を奪う新自由主義。われわれ学生の存在が、加工されるための製品、企業に身売りされるだけの商品とみなされている。人間の尊厳を否定し、自由を奪う、ここまで大学を腐らせた新自由主義にもはや可能性はない。自由を取り戻そう！社会を変革しよう！」



戦争を止める力も、法大生の中にある

「ピラ一枚もまけない」「1ミリの批判すら認めない」「声を上げるのも命がけ」 - これが今の法政大学だ。びっくりするくらい、かつて戦争に向かったときと同じではないか。大学に自由が奪われたとき、大学が支配に屈したとき、戦争が始まる。これが歴史の教訓ではなかったのか。

文化連盟にたいし「暴処法」という法律が適用されている。「暴処法」は戦前、治安維持法とセットでつくられた法律だ。戦争体制を築くために猛威をふるった。「暴処法」

は戦争への道だ。

しかし法大生のみんなに訴えたい！「暴処法」は敵の恐怖の表れだ。4・24法大生の団結した闘いに、戦争を止め、社会を変えるエネルギーが充ち満ちていたことの証にほかならない。

文化連盟の逮捕は

労働者・学生総決起の号砲だ！

文化連盟逮捕は、法大生の怒りの最深部に火をつけた。「もう黙ってられない」「自分に何か出来ることはないか」法大生の怒りが噴き上がっている。敵は完全に墓穴をほった。法大生の力で、12人をとりもどそう！

法大生だけではない！「暴処法を許せば戦争・改憲の道」「学生の頑張りに続くぞ」 - そういつてあらゆる層の人々が声を上げている。「暴処法弾圧を弾劾し、12名の即時釈放を求める《緊急弁護士声明》には、わずか1週間で170人をこえる弁護士が名を連ねた。弁護士や大学教授、労働組合のリーダーたちが呼びかけた《緊急全国声明》の賛同も710筆あつまった。（いずれも6月3日現在）

文化連盟の闘いは、新自由主義と戦争と対決するすべての労働者・学生の展望だ。

6月5日が12人の勾留満期だ。正義を貫いて闘うリーダーたちを絶対に奪還しよう。そして新自由主義と戦争と対決する、6・14全国労働者総決起集会と6・15法大弾圧粉碎！ 労学総決起集会に、すべての法大生は立ち上がるろう！



12人をとりもどせ！
法大弾圧粉碎緊急集会には420人が集まった(5/22)

国鉄1047名解雇撤回！ 労働者派遣法撤廃！
改憲阻止！ 麻生政権打倒！

6・14全国労働者総決起集会

6月14日(日) 13時開会
代々木公園B地区(けやき並木)
主催 6・14集会実行委員会

法大学生弾圧粉碎！

6・15反弾圧全国労学総決起集会

6月15日(月) 12時半開会
法大市ヶ谷キャンパス正門前
主催 6・14集会実行委員会